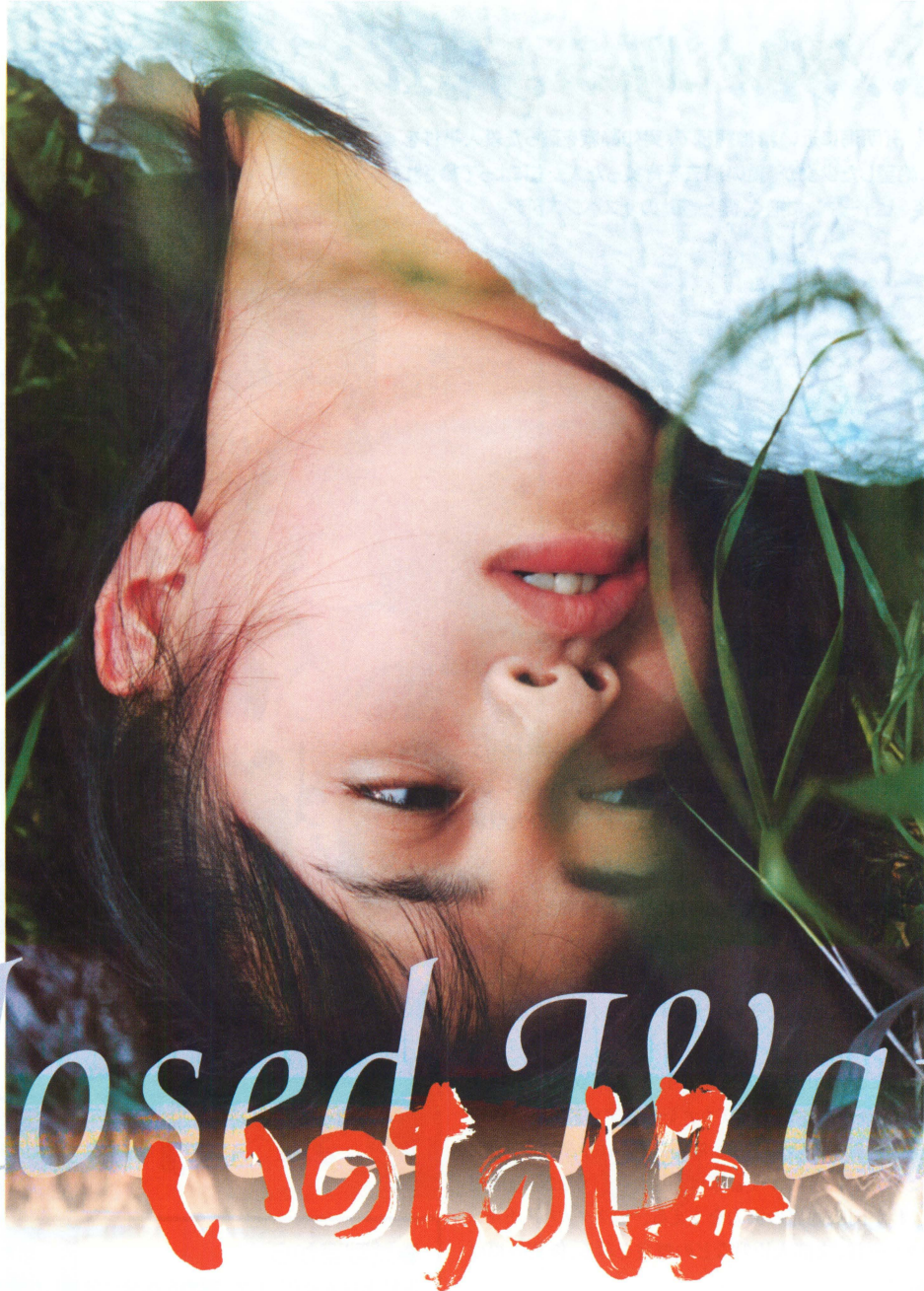


二度は死ねません……



Closed Ward

いのちの海

上良早紀／頭師佳孝 林 泰文／中村嘉葎雄
安岡力也 宮下順子 長江英和 芦屋小雁 小原雅人 伊佐山ひろ子 畠山明子 高原節子
冷泉公裕 小林かおり 田中優樹 坂口祐三郎 ヒーマン はなわ／佐賀県鹿島市のみなさん
横山通乃 高岡健二 田村英里子(監)／風間杜夫(監) 村田雄浩(監) 有馬稲子(監)

監督■福原 進(第一回監督作品) 製作■田久保正之／森岡道夫 プロデューサー■田中博道 脚本■石堂淑朗／西村雄一郎 音楽■池辺晋一郎 撮影監督■坂本典隆 美術監督■木村威夫
照明■西表灯光 録音■福田 伸 美術■丸尾知行 編集■菊池純一／鶴岡邦彦 スタリフター■椎塚二三 助監督■南柱根
原作■帯本達生(閉鎖病棟・新潮文庫) 題字■江口大象
演奏■東京コンサート 音楽制作■東宝ミュージック
協力■佐賀県 鹿島市 佐賀市 川副町 フォーラム鹿島 新潮社 全日空
ロケーション協力■祐徳稲荷神社 土井敏行 藤雅仁 柳風会早津江病院 梅生会好日の園 柳田産婦人科 NTT西日本・佐賀支店 製作■株式会社 イーハーフィルムズ

傷ついた少女を
救ったのは
豊かな有明の海と
しいたげられた
現代の世捨人だった。



生きよ！魂が叫ぶ。死んではならないと！

九州佐賀県。有明海に近い精神病棟で、突如静寂を破った殺人事件を通して、人生に絶望した少女が、重い過去を背負った人たちによって癒され、再生していく姿をヒューマンに描く、涙と感動のサスペンスドラマ。

『それでもなお人は生きていかねばならない。』
この現状の列島に生きる総ての人々に贈るヒューマンズを極めたサスペンスドラマ。
『それでもなお人は生きていかねばならない。』
山本周五郎賞受賞作「帚木蓬生」「閉鎖病棟」ついに映画化。
いま、この国が失いつつある「心」を取り戻すために、低迷する日本映画再生への強い願いを込めて。

第24回モントリオール世界映画祭 正式出品作品

●プロダクションから

ヒロイン役の上良早紀は、19万5千人が参加したジャパン・オーディションで見事栄冠を獲得した。松田聖子や酒井法子の新人時代と同じく、サンミュージック相沢社長自宅の、まさしく同じ部屋に下宿中の16才、期待の大型新人である。

七人の侍という、黒澤明の名作は、百姓たちが野伏せりの襲撃という有事に備えて、手練れの浪人たちをスカウトする話から始まる。

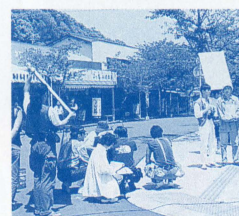
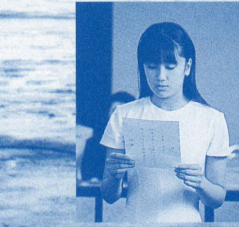
わが国を代表する脚本家、石堂淑朗は、一年半の歳月をかけ、感動的なシナリオをつくり上げた。私たちにとって、そのシナリオは「七人の侍」の百姓たち。

まず、そのシナリオを読んだ、わが国映画美術界の至宝 木村威夫から、無条件で参加したいという申し入れがあった。日本アカデミー賞、アジア国際映画祭撮影賞など数々の授賞歴のあるカメラの名手 坂本典隆も手を挙げた。照明、録音、編集の技師さんたちも例外ではない。音楽は「影武者」「うなぎ」の池辺晋一郎。このようにして、わが国映画界の実力を支える一流スタッフが、ドキュメンタリー出身でギャラクシー賞、文部大臣賞などの授賞を誇る、俊英の福原進監督のもとに続々と集った。

そしてキャスト。俳優さん達の熱意は更に激しいものがあつた。自ら劇用の陶磁を焼き、参加した中村嘉葎雄。劇中人物のチュウさんが、ブラームスおたくと聞き、すっかりブラームス通になって福原監督の前に現れた頭師佳孝。「悪」の表現に工夫を凝らした安岡力也。林泰文、芦屋小雁などの参加意欲も並々ならぬものがあつた。特別出演の有馬稲子、村田雄浩、風間杜夫も多忙なスケジュールを割いて、九州のロケに馳せ参じた。こうして、新しい製作の方策と、企画意図に共鳴し、脚本に魅せられて、集った人達によって撮影クルーの編成が成った。

ロケーションは、鹿島市を中心に、佐賀市、川副町の全面協力のもとに行われた。

人間の真実と、明日への信頼を、生命に託した登場人物たちが、多くの生命を育む豊穡の有明海と、麦秋の佐賀平野を舞台に活躍する。



●試写室から

正統派日本映画として、実力を存分に発揮した素晴らしい作品です。重く厳しいテーマなのに、ドラマはラスト、見事に盛り上がってくる。明日に確信をもたせる伸びやかな感銘はなんといったらいいでしょう。頭師さん、嘉葎雄さんをはじめ多くの俳優たちに拍手します。そして上良早紀ちゃんの健気な演技にも。 草場 創 (大学教授)

昨日、恋人だった人と別れました。帰りのセンター街、山手線。どうやって帰ってきたか憶えていません。今日、試写を観ました。見終わってしばらくは、席を立つ事ができませんでした。ラスト近く「秀丸さん(中村嘉葎雄)退院したよ！」チュウウさん(頭師佳孝)の声が、耳奥深く残っています。私の頬を伝う涙は、昨日のそれとは違います。「生きよ」私は、こぶしを強く握りしめていました。 藤本 攝子 (大学二年)

9月8日(土)~21日(金) 感動のロードショー!!

連日 12:50 2:50 4:50 6:50

特別鑑賞券1400円好評発売中!!
■当日 / 一般1700円、大学1400円、高・中・小・シニア1000円
★9/16(日)4:50の回字幕朗読上映会 ★9/17(月)2:50の回団体映

初日9/9(日)PM2:40より
主演・上良早紀舞台あいさつあり!!

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分
シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416
(シネ・ヌーヴォのホームページアドレス)
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

地下鉄中央線	一本町
九条駅	6番出口
一 大阪港	バス
二 アルト	バス
三 ナルト	バス
四 フォルク	バス
五 シネ・ヌーヴォ	バス
六 九条公園	バス
七 パチナ	バス
八 ヌーヴォ	バス
九 大坂ドーム	バス